

年度	科目名
00~03	2 単位 1・2 年次配当 書道 I ①
99以前	2 単位 1 / 2 年次配当 書道 I ①・書道 V ①
三宅 高司	

〔テキスト〕

『入門書道 基礎から応用まで』

三宅相舟編著 雄山閣出版

〔基本項目〕

リ ポ ー ト	書式	
	ワープロ使用	
	課題の同時提出	
ス ク ー リ ン グ	前半部	
	後半部	
	全体部	夏期 4 期
単位認定試験		スクーリング試験

〔学習の内容〕

・ 基本理念

書が人間形成に欠かせない科目であることは、古来東洋人の伝統的心条であるとともに、実験心理学の立場からも証明されている。ところが戦後の能率主義・合理主義の歯車の中でその立場が学校教育として十分に保障されることがなかった。感情の薄い若い世代が多くなったことの一因がそこにあるかと思う。書道学習の真の修得は学と技を一体化して学ぶことにある。テキストはこの両面を充たした形で構成されている。

免許取得を目的とする人にもそうでない人にも書が全人格を形成するための芸術であることを自覚した内容となっている。事前にしっかりと熟読してスクーリングに臨んでほしい。

通信教育生として書道を受講した人の傾向として、学の面ではこれを充足して修了する人が多いが、如何せん芸（技）の面で上達のゆるやかな人の多いのも実態である。いうまでもなく技術の習得には正しい執筆法・用筆

法・運筆法による反復練習が必要であり、日常の継続的な学習態度が不可欠となる。随時、実技レポート提出方式ではなくスクーリングによる集中指導であるから、それだけに平素の自主的・積極的な取り組みが要求されよう。

スクーリング学習

〔講義内容〕

◎楷書 楷書はもと正書とか真書とか呼ばれた書体であり、心を正して謹厳にのぞむ書体である。何といたっても第一に『九成宮』を学ぶことになる。テキスト 49 ページを先ず精読しておくこと。次に 43 ページの解説を読み、更に楷書に関わるページに目を通しておいてほしい。43 ページの拓本を全字順を追って、半紙に「4～6 字書き」していただきたい。

書体終了時に一枚、課題を示して清書を提出していただく。

◎行書 テキスト 28 ページの「行書について」を精読しておくこと。行書の古典を代表する『蘭亭序』を学ぶ。特に筆者王羲之についてはその人物像を深く探求し、書人としての理想像を浮き彫りにしてみたい。現代の実用書写においても最も使用される書体であり、その典範とされるものとして習熟したい。また近年重視される「漢字仮名交じりの書」を書く上での基礎的古典でもあるから、小筆で半紙に全臨することも指導したい。

書体終了時に一枚、課題を示して清書を提出していただく。

〔予習事項〕

(楷書)

テキスト 43 ページの「微風徐動」を半紙に書いてくる。(一枚)

(行書)

テキスト 25 ページの「仰觀宇宙之大」を半紙に書いてくる。(一枚)

※スクーリング 1 日目開始時に提出していただく。楷書・行書ともに氏名は楷書で記入

(毛筆) すること。(本文左端に縦書きで) 《スクーリング時に持参するもの》

1、書道用具一式

◎楷書・行書

大筆(中鋒・兼毫の標準のもの)・小筆(唐筆が好ましい。禿筆はいけません。)

墨は液墨(墨汁)。家庭学習では磨墨するのが好ましい。

硯は、液墨を使用するため墨池でよい。無論、標準硯でもよいが硯面を清潔にしておくこと。

紙は画仙半紙に限る。(パルプ紙は不可)

2、テキスト

3、字書は『五體字類』(西東書房)など。

4、楷書課題・行書課題

5、文鎮・下敷・筆巻・紙挟みなど。

〔備考〕

スクーリング終了時の単位認定試験について

スクーリング終了後の課題提出により評価される。スクーリング終了時に各書体ごとに課題と枚数が示され、受講者は定められた期日までに提出し、それによって採点される。

書道は実技科目であることから、スクーリングで受けた指導をもとに十分練習したものを単位認定試験(スクーリング)として提出し、単位を修得するものとする。

なお、スクーリング中に、書体ごとに1枚の清書を提出して評価の基準とする。

◎楷書・行書、それぞれ指定された枚数分をまとめて綴じ、定められた表紙を付けて提出すること。

◎提出日時については、スクーリング終了時に発表する。提出期限までに提出しない場合は、スクーリングの単位は認められない。単位が必要な場合は、再度スクーリングを受講するものとする。

◎指定された範囲と枚数分が提出されない場合は、単位は認められない。

◎単位認定試験(スクーリング)として提出した半紙等は、原則として返却しない。

◎スクーリング中に提出したものと、単位認

定試験(スクーリング)として提出されたものが著しく異なり、本人が書いたものと判断しかねる場合は、大学へ来ていただきその場で清書していただく。

成績評価基準

楷書課題

行書課題

- 1) 規定の量を充たしてあるか
- 2) 課題(古典)の用筆法の習得度について
- 3) 課題(古典)の運筆法の習得度について
- 4) 字粒の大きさ・字形・位置などの布置・章法について
- 5) 熟習による線の練度について
- 6) 筆力(筆意・筆勢)の習得度について

※気韻生動しているか

以上の項目を精査して評価したい。